

板橋区施策評価表

令和 2年度 施策評価表 モニタリング

施策名	110600 子どもと母親の健康づくり	「基本計画2025」で示した、基本目標、基本政策、施策の3層からなる施策体系を記載しています。	
基本目標	I 未来をはぐくむあたかいまち		
基本政策	I-1 子育て安心		
所管部長	健康生きがい部 保健所長 鈴木 眞美	所管課長	健康推進課長 長谷川 聖司
関連所管	板橋健康福祉センター 上板橋健康福祉センター 赤塚健康福祉センター 志村健康福祉センター 高島平健康福祉センター		

【施策基本情報】

施策概要（「基本計画2025」） 【概要】 妊娠・出産支援、各種健康診査や育児支援によって、子どもを産み育てやすい環境と母子の健やかな健康づくりを推進する。 【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 区民一人ひとりが未来を担う子どもをはぐくむという意識を持つ。子どもをひとりの人間として尊重し、愛情をもってはぐくむ。 「基本計画2025」で示した各施策の概要を記載しています。 ・【概要】 ・【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 ・【主な取り組み】を記載しています。（計画策定時の内容）	施策のアウトカムイメージ 母子の健やかな健康づくりを推進するために、健康福祉センターをはじめとした関係部署、医師会等外部関係機関との連携の下で、子どもの成長の時間軸に沿った円滑な事業を実施し、支援の必要な対象者には、地区担当保健師が個別にマネジメントした重層的な切れ目のない支援が実現し、母と子が健やかに過ごすことができる。
--	--

各所管部が施策を推進する過程で具体化した【施策のアウトカムイメージ】を記載しています。

【指標の推移】

区分	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 妊婦健康診査受診率	%	92.2	95.0	92.1	95.0	95.0
		達成率(%)	97.1	100.0	96.9	100.0	令和7年度
	② 乳幼児健康診査受診率	%	92.7	92.6	93.7	100.0	100.0
		達成率(%)					
	③ 乳児家庭全戸訪問面会率	%					
	達成率(%)						
	④ 妊婦・出産ナビゲーション事業面接率	%					
	達成率(%)						
	⑤	%					
	達成率(%)						

「基本計画2025」で設定された施策指標(施策の進捗状況や成果を数値化した指標)を記載しています。

特記事項

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 予算	令和元年度 決算	令和2年度 予算	
フルコスト	千円	804,067	898,905	942,499	887,091	939,357	
事業費	千円	581,131	624,819	669,190	592,719	644,985	
特定財源	国庫支出金	千円	24,261	27,751	37,747	32,721	29,427
	都支出金	千円	78,831	79,280			
	特別区債	千円	0	0			
	受益者負担	千円	0	0			
	その他	千円	2,887	3,146			
	一般財源	千円	475,152	514,639			
人件費合計	千円	222,936	278,311	277,522	294,372	294,372	
経費	千円	0	0	0	0	0	

施策を構成する事務事業のコスト(事業費、人件費等)の合計額を年度別に記載しています。(単位:千円)

フルコストの増減理由

主に妊婦健康診査にかかる費用の増による。

外部環境の変化や、自組織の能力に対する認識を記載しています。

【組織・環境に関する認識】

組織の強み(S)	組織の弱み(W)	組織の強み × プラスの環境	組織の強み × マイナスの環境
区内5か所の健康福祉センターに保健師、栄養士、歯科衛生士などの専門職を配置し、子育て世代包括支援センター(母子保健型)事業機能を有する。	子育て支援に関する福祉サービスの提供については、関係部署との連携が必要	専門職が配置されていることを生かして、国、都の補助金制度を活用し、子育て世代包括支援センター(母子保健型)事業を充実する。	専門職の配置と子育て世代包括支援センター(母子保健型)事業を十分に活用し、きめ細かな事業を実施する。
プラスの環境(O)	マイナスの環境(T)	組織の弱み × プラスの環境	組織の弱み × マイナスの環境
出生数は横ばい傾向 転入人口の増加傾向 国、都の補助金の新設 児童相談所の設置 医療資源の量的充実	出産年齢の高齢化の進行 理想的な子どもの数の平均(2.05人)と予定している子どもの数の平均(1.64人)の差 産後ケア・発達障がいへの対応が不十分 療育機能の不足	児童相談所の区設置を契機とし、子育て世代包括支援センター(母子保健型)事業の展開により、関係部署との連携体制を構築する。	自区内調整が難しい機能については、広域的な視点を含めて検討する。

施策名	110600	子どもと母親の健康づくり
-----	--------	--------------

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容	評価標準語/改善の方向性	順調/工夫して継続
<p>【平成**年度外部評価】</p> <p>妊婦・出産ナビゲーション事業の導入により面接率が上昇していることや、乳幼児健康診査未受診者の把握や対応の標準化など、妊娠期からの切れ目のない支援の取り組みに対する職員の地道な努力は評価できる。今後の課題としては、施策目標で掲げる「子どもを産み育てやすい環境と母子の健やかな健康づくり」の実現に向けて、本当に支援を必要としている人の発見を一層強化していくとともに、</p> <p>子育て経験者やシニア世代や住民との協働による支援サービスの拡充（産前・産後サポート事業の導入等）や、総合的な相談支援のコーディネート機関の設置が求められる。特に妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センターと、すべての子どもと家庭、要支援児童等へ支援を担う子ども家庭総合支援拠点とが一体的なコーディネートができるよう整備されることを期待する。</p>		
前回の評価結果への対応状況		
対応状況	一部対応済	
<p>面接率の向上のための勧奨では、事前に死産者あり方検討会での作業において母子保健分野における他自治体に出向いて行った。</p> <p>前回の評価結果への対応状況を記載しています。 【対応状況】対応済、一部対応済、検討中、対応困難</p>		

【一次評価】所管部長による評価

【成果の分析】 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移		
評価	順調	
<p>妊婦健康診査受診率については、わずかに減少している。施策目標に対する成果（実績値）がどう推移しているか、どの事務事業が関係しているか、その他数値では測れない成果が上がっているのかについて、所管部長による評価を記載しています。 【評価評語】順調、概ね順調、停滞、達成</p>		
【成果の分析】 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因		
<p>妊婦健康診査受診率については、自然流産、里帰り出産者、転出入者など実態把握が困難なギャップであると思われる。また、妊婦・出産ナビゲーション事業の面接率についても、同様の理由と経産婦で面接を希望をしない方によるギャップがあると思われる。</p> <p>施策目標と成果（実績値）にギャップがある場合の要因について、記載しています。</p>		
【フルコストの把握・分析】 施策目標を達成するための手段（事務事業）は妥当か		
評価	妥当	
<p>区の母子保健事業は、妊娠、出産、子どもの成長の時間軸に沿い、体系的に事業展開し、必要なサービスを重層的に構成できているものと考えている。しかしながら、すべてが区民ニーズに必ずしも対応できているとは考えられず、支援が必要と認められている産婦人科施設などとの連携・調整を図り、切れ目のない支援を行う必要がある。</p> <p>成果の分析を踏まえ、施策目標を達成するための手段として、構成する事務事業の妥当性や見直し内容について、所管部長による評価を記載しています。 【評価評語】妥当、概ね妥当、見直し</p>		
【環境変化の分析】 環境変化への対応状況について（社会状況・区民ニーズ）に対応できているか		
評価	対応済	
<p>国の「子ども子育て支援交付金」東京都の「出産・子育て応援事業（ゆりかご・とうきょう事業）」補助金を引き続き活用し、妊婦・出産ナビゲーション事業を実施することとなった。面接後の区民の感想において、支援が必要と認められている産婦人科施設などとの連携・調整を図り、切れ目のない支援を行う必要がある。</p> <p>周辺環境（法改正・社会状況・区民ニーズ等）の変化への対応状況について記載しています。【評価評語】対応済、一部対応済、検討中、対応不可</p>		
【今後の展開方針】 施策の抱える課題や懸案事項を含め、中長期的に施策をどう展開していくのか		
<p>子どもを産み育てやすい環境と母子の健やかな健康づくりを推進するため、母子保健事業の体系的、重層的構成の特色を十分活用し、母子だけでなく、家族全体、地域へと健康づくりを展開していくことが重要である。また、母子保健法の改正により、これまで以上に乳幼児に対する虐待などの予防・支援センター事業の「母子保健支援センター事業」の「母子保健支援センター」の設置・運営について検討していく。</p> <p>今後施策をどのように展開していくのか、施策の抱える課題や懸案事項を含め、中長期的な方針を記載しています。</p>		

【外部評価】行政評価委員会による評価

評価標準語/改善の方向性	順調/工夫して継続															
外部評価対象外																
行政評価委員会による外部評価を記載しています。																
<p>《評価標準語・改善の方向性》 「評語」とそれに見合った「改善の方向性」を組み合わせ評価しています</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【評語】</th> <th>【改善の方向性】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>順調</td> <td>目標の達成に向け順調に進捗し、事業継続により目標達成が見込める状態</td> <td>工夫して継続</td> </tr> <tr> <td>概ね順調</td> <td>必ずしも上向き傾向ではないが、ある程度のレベルで進捗している状態</td> <td>目標値・指標の見直し</td> </tr> <tr> <td>停滞</td> <td>目標に対して進展していない状態</td> <td>事業手法の見直し</td> </tr> <tr> <td>達成</td> <td>計画どおり、または計画より早く進捗し、目標を達成した状態</td> <td>事業の廃止</td> </tr> </tbody> </table>			【評語】	【改善の方向性】	順調	目標の達成に向け順調に進捗し、事業継続により目標達成が見込める状態	工夫して継続	概ね順調	必ずしも上向き傾向ではないが、ある程度のレベルで進捗している状態	目標値・指標の見直し	停滞	目標に対して進展していない状態	事業手法の見直し	達成	計画どおり、または計画より早く進捗し、目標を達成した状態	事業の廃止
	【評語】	【改善の方向性】														
順調	目標の達成に向け順調に進捗し、事業継続により目標達成が見込める状態	工夫して継続														
概ね順調	必ずしも上向き傾向ではないが、ある程度のレベルで進捗している状態	目標値・指標の見直し														
停滞	目標に対して進展していない状態	事業手法の見直し														
達成	計画どおり、または計画より早く進捗し、目標を達成した状態	事業の廃止														

【二次評価】区の最終評価

評価標準語/改善の方向性	順調
<p>施策指標の実績は順調に推移しており、妊婦・出産ナビゲーション事業は赤ちゃん事業を新生児訪問指導に統合し、効率化の更なる向上に向けた工夫の検討や、「子育て世代包括支援センター」の設置・運営について検討していく。</p> <p>区の最終評価を記載しています。</p>	

